

未来を切り拓く住吉小学校の教育

*本校ホームページもご参照ください。



住吉小学校



(令和8年5月1日現在)

所在地	〒558-0052 住吉区帝塚山西4-1-35		
電話	06-6672-6001	FAX	06-6672-6103
URL	https://swa.city-osaka.ed.jp/e731661		
校長名	生嶋 雅人		
児童数	325名	教職員数	38名
学級数	19学級(うち特別支援学級7)	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

人間尊重の教育を基盤とし、「生き抜く力」を育む教育活動を推進する

校長メッセージ

住吉小学校は、明治41(1908)年に創立し、今年度で118年目を迎える伝統のある学校です。本校は、「自分を大切に、周りの人たちと共に未来を切り拓く子ども」の育成を学校教育目標の中心に据え、人間尊重の教育を基盤とした「生き抜く力」を育む教育活動を推進しています。ちがいを認め、互いに高め合える仲間づくりのためには、自分が大好きな子どもたちを育むことが必要です。そのために、我々教職員一同は子どもたちを大いに褒めていきます。そして、保護者、地域の方と共に歩み、より良い住吉小学校を実現できるよう、邁進いたします。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

学校協議会会長メッセージ

住吉小学校学校協議会では、一人一人の子どもたちが健やかに成長できるよう、学校に協力しています。そのため、すべての子どもを大切にしたいという保護者や地域住民の願いが教育活動に反映できるよう、学校行事にも積極的に参加しています。特に、登校時における子どもの見守り活動には力を入れています。子どもたちの「おはようございます」「ありがとうございます」という挨拶には、こちらも元気をもらっています。また、学校の教育活動や子どもの様子についても、積極的に地域に発信し、地域のみなさんにも学校に関心をもってもらえるよう努めています。子どもは地域の宝です。学校に対するみなさんのご支援とご協力をお願いいたします。

▶▶ 運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたい。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

確かな学び

○ICT機器を活用した授業づくり

一人一台端末や大型モニターを活用した授業を推進し、児童が「できた・わかった」と実感できるよう、全教職員で研究に取り組みます。また、ICT機器を活用した協働的な学習やデジタルドリルを活用した個別最適な学習をすすめ、児童の学力向上に努めます。

○協働的な学び

日々の授業において、協働的に学ぶことを大切にしています。ペア・トークやグループ学習による課題解決に向けた「学び合い」、思考ツールを活用した交流活動での考えの「練り合い」など、「主体的・対話的で深い学び」をめざしています。



支え合う仲間

○学年・学級集団育成

学級・学年での活動だけでなく、様々な学校行事を通して仲間づくりに取り組んでいます。「自分を大切にする心」「友だちを大切にすること」を育むために児童の発達段階に応じた人権学習に取り組んでいます。

○「にじいろ班」活動

1年生から6年生で縦割り班を編成し、異学年集団による児童集会や遠足、お店屋さん活動など様々な活動を行うことで、上級生は下級生のお世話をする思いやりの心、下級生は上級生に対する感謝とあこがれの気持ちを育んでいます。



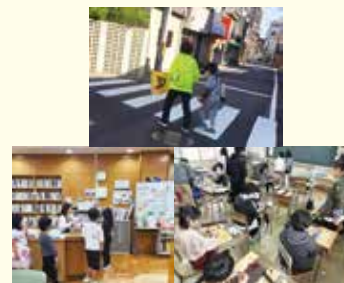
地域との協働

○ブックハウスの活動

地域・一般の方も利用できる図書館(ブックハウス)は、司書や地域のボランティアの方の協力により、毎日開館しています。きれいに整備され充実したブックハウスには、開館時間になると、本を読むことが好きなたくさんの子どものみなが集まります。

○地域との交流・「見守り隊」

生涯学習ルーム受講生のみなさんと年間数回交流する場面を設け、絵手紙や工作などを教えてもらっています。また、保育所・幼稚園とは生活科の授業や給食、中学校とは授業・部活動体験などで交流を行っています。また、登下校時には「見守り隊」が児童の安全を支えてくださっています。



▶▶ 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象:令和7年度の小学6年生)

【平均正答率(%)】

国語	算数	理科
56	51	49

【結果の概要】

【国語】 本校の国語の平均正答率は56%で、大阪市平均よりも9ポイント下回る結果となった。特に、条件に合わせて記述式で解答する設問では大阪市平均との差が大きく、条件を読み取り、表現することに課題がみられる。一方で、昨年度の無回答率は8.7%であったが、今年度は4.2%と、依然大阪市平均と比べると高いものの、学習に向き合う姿勢には改善がみられる。

【算数】 本校の算数の平均正答率は51%で、大阪市平均よりも7ポイント下回る結果となった。どの領域においても問題文の情報量が多いと誤答する割合が増える傾向がみられ、問題文を読み取り、意味を理解することに課題がみられる。図形領域では大阪市平均を上回る設問もあり、基礎・基本の一定の定着はみられる。

【理科】 本校の理科の平均正答率は49%で、大阪市平均よりも6ポイント下回る結果となった。「エネルギー」「粒子」を柱とする領域において、実験から推測される結果等についての知識・想像力に課題がみられる傾向がある。

【質問調査より】 「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する児童の割合が大阪市・全国に比べても高く、自己肯定感の高さが窺える。ここ数年の生成AIの取組により、PC・タブレットなどのICT機器の活用」の質問では、ほぼ毎日活用しているとの回答が大阪市、全国を大きく上回っており、取組を通じたICT機器の活用の定着が図られている。

▶▶ 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象:令和7年度の小学5年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	15.84	22.53	30.00	38.60	39.95	9.55	139.60	18.74	49.56
女子	15.44	18.88	33.79	36.54	30.13	9.94	132.63	12.68	50.91

【結果の概要】

本校5年生男子の体力合計点は昨年度より向上し、大阪市平均および全国平均との差は縮まった。特に20mシャトルランやソフトボール投げでは記録の改善が見られ、持久力や投力の向上がうかがえる。一方で、握力や反復横跳びについては依然として市・全国平均をやや下回っており、基礎的な筋力や敏捷性のさらなる向上が求められる。全体としては、体力の底上げが進みつつある状況である。

アンケート結果では、「運動が好き」と答えた児童の割合が昨年度より増加し、市・全国平均との差も縮まった。「やや好き」と回答した児童も引き続き多く、全体として運動に対する肯定的な意識が高まっている。また、「運動が嫌い」と答えた児童は引き続き少数であり、学校での取組が意欲面の向上につながっていると考えられる。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は昨年度より減少したが、依然として市・全国平均と比べると高い状況にある。体育の授業や行事での運動機会は確保できているものの、日常生活における継続的な運動習慣の定着には課題が残る。

【P75に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】